

挑むサラリーマン集団

Jリーグを目指さないアマチュアクラブが、天皇杯全日本選手権でベスト16に勝ち残った。日本フットボールリーグ（JFL）の横河武蔵野は、選手の約半数が横河電機の社員という「サラリーマン集団」だ。15日の天皇杯4回戦で8強入りを懸け、昨季J1王者の柏に挑む。プロ化しない方針のため、JFLで優勝してもJリーグに昇格することはない。選手のモチベーションとなるのは「サッカーが純粹に好きという気持ち」と、主将のDF金守は説明した。練習は平日の夜に限られ、日曜にJFLの試合があっても月曜は朝から出勤する。あくまでも社業を優先させ、MF岩田は営業職で各地を飛び回る。天皇杯2回戦のFC東京戦で決勝点を挙げ、取引先に「君、サッカーをやっていたんだ」と驚かされたという。

かつて鹿島や清水、広島など、Jリーグの華やかな舞台で活躍した吉田ヘッドコーチは

アマの横河武蔵野（JFL） 天皇杯8強へ柏と対戦



J2千葉との練習試合に出場した横河武蔵野主将のDF金守（28）＝8日、千葉市

「（目的は）ステータスとかお金じゃない。精神的にたくましい」と感心する。チームにはアルバイトで生活してプロを目指す選手もいる。依田監督は「個々が目指すところ（目的）は違っても、チームで目指すところはトップ」と一体感を強調した。自らも社員の同監督が「非現実の舞台」と呼ぶ一発勝負の天皇杯で、番狂わせを狙う。（田丸）

（2012年12月13日 24面）

☆記事を読んで、プロ選手とアマチュア選手の違いについて考えてみよう。